

令和7年度第1回八尾市社会福祉審議会障害者福祉専門分科会 会議録（要約）

■開催日時：令和7年7月14日（月） 午後2時～午後3時35分

■場 所：八尾市役所本館8階 第2委員会室

次第2. 第8期八尾市障がい福祉計画及び第4期八尾市障がい児福祉計画策定におけるアンケート調査について

【会長】

資料1と資料2の提出先は市役所で良いか。分析は委託事業所か。

また、事業所のアンケートは直接委託業者に回答するという認識で良いか。

【事務局】

お見込みのとおり。

【会長】

まず、18歳以上と18歳未満のアンケートについて。アンケートとは分析できることを聞くものであり、聞きたいことを聞くものではないという前提でご意見を頂戴したい。

【委員】

3ページのサービスについて。問17以降で、現在利用中の方の満足度が前回「不満」という回答は多くはなかったものの、あったと思う。13ページ以降の問41「地域での暮らしについて」とクロス集計をとると何か見えてくるのではないか。

【会長】

A～Gまでの満足度の足し算ができるか、という点が重要になってくる。もしできれば、それをもとにわけていくことは可能かと思うが、足せるかという点が統計学上の問題としてかなり複雑になるため、事務局や業者に確認する必要がある。

【委員】

16ページの成年後見制度等について、問49から記載があるが、質問の意図を聞きたい。「市民後見人」が入っているが、この並びに違和感がある。

【委員】

成年後見制度等について説明は書いてもらっているが、このような書き方で利用者側がどこまで判断できるかという疑問はある。

また、表紙について。行政的な言葉で読んでいるとしんどい。最初から6行目のところできれいなく、そのあと、具体的な対象者などを記載すると良いのでは。

「＜回答にあたって＞」の一つ目を上に持ってくる方が良い。郵送の方法等と同じレベルで書くものではないのではないか。

【会長】

目的を先に書くのが良いのではというご意見。

【委員】

14 ページの暮らしについての相談に関する設問。問 44、45 は生活全般の総合的なことかと思うが、問 47 では具体的なことになっている。

また、相談先で「基幹相談支援センター（障がい福祉課）」となっているが、基幹と障がい福祉課は分けた方が良いと思う。

【委員】

問 46 の相談先として「家族や友人」が入っているのが違和感あり。また、すでに前の問で聞いていることと被っているのでは。

【会長】

行政の聞き方として、「A はどうか」「B はどうするか」という風に分けて聞きがちというのはある。

【委員】

17 ページの問 51 について。コロナの「影響後」という言い方があるが、「流行後」という表現の方が良いのではないか。影響はまだ残っているのではと思うので。

問 53 の増加した理由の選択肢について、3 と 4 が重なっている人がいると思うが、一つしか○できないので、多くは 4 を選ぶのでは。3 番の取り扱いについて聞きたい。また、5 番の文面のとりかたが少し難しい。

【委員】

16 ページの問 49 について。設問と選択肢の位置が離れすぎていて「必要」「必要ない」という表現が誤解を招くのでは。本人が必要ないという意味だが、制度自体が必要ないという見え方になってしまわないか。

【会長】

問 49 と 50 をミックスできれば一番良いか。

【委員】

18 歳未満の方で、10 ページの問 26 について、教育センターなど教育委員会関係が入っていないが入れなくて良いか。

成人の 14～15 ページの問 46 に違和感がある。問 43 のところについて「より充実してほしいところ」を聞けないか。

【会長】

たとえば問 43 の右側にセルを追加して聞くとか。

【委員】

18 未満の 4 ページの問 13 について。いちょうを利用している方は答えにくいのではないか。

また、「学校等に通っていますか」のイメージは地域の学校等に通っている方か。しょうとく園も通園だが…。

12 ページ権利擁護について。18 歳未満だとまだ何のイメージもわからない、わからないというイメージかと感じた。

【会長】

成年後見制度等については、行政としてはどうにかしたいと思って入れたいが、回答する側はわかりづらいものである。

鑑文について、調査に関するお願いと趣旨と無作為抽出等の補足的情報を分けることや、言葉の繰り返しを減らす等について事務局はいかがか。

【事務局】

もう少しわかりやすく修正しようと思う。

【会長】

問 17 の「不満」と回答した人のクロス集計についてはいかがか。

【事務局】

業者に聞いてみる必要があり、現時点では可能か不明。

【会長】

問 44～46 に重複感や応えづらさあり。問 43 で現状を聞いているので、それぞれの充実について聞くなどはどうか。問 46 相談先に家族が入っているのはどうかというご意見についてはいかがか。

【事務局】

重複感は工夫したい。これまでの会議で「相談先がわかりにくい」というご意見が委員の皆様より多かったこともあり、アンケートでとりたかったという意図がある。問 43 のところにシートを増やすといったことは可能かと。相談しにくいと感じている方がどれくらいいるかなどを聞いて、次期福祉計画に反映できればという意図があった。

【会長】

成年後見制度のところ。例えば問 49、必要か否かを言い方を変える。「わからない」にするとみんなそれを選んでしまうという懸念あり。問 46 と問 50 を合体させると複雑になりすぎるので、分けたまま言い方を見直すのはいかがか。

【事務局】

前回との比較の意味合いもあり、同じ文言にしているが、制度の必要性という誤認を避けるような工夫が必要かと思う。

【会長】

例えば「あなたに必要」に下線を引くとか。ただ、経年比較をするなら同じ文言にしないといけない。どうするかは事務局と考えさせていただく。

また、コロナ「流行後」という表現の方が良いのではというご意見があった。選択肢 3～5 についてはどうするか。

【事務局】

「流行後」に修正する。選択肢の 4 を省くのはいかがか。

【委員】

コロナが出始めた頃は事業所による差が大きかったと思うが、今の時期に 3 は省いても良いかと。

【会長】

3 は省き、4 と 5 を統合する。

【委員】

感染症の終息後という言い方まではしない方が良いかと。「影響後」は「影響が済んだのに影響がある」というのが違和感あり。言い方が難しいが「流行後」くらいが良いかと。コロナに関しては前回の調査時と状況が変わっているので、文言の変更もありかと思う。

【会長】

資料2の4ページ問13のDとEはわかりづらいのでは？というご意見についてはいかがか。

【事務局】

法律上の書き方に合わせているので、一旦このままでいきたいと思う。

【会長】

障がい児の方の成年後見制度等に関する問はどうするか。とりあえず入れておくということが良いか。

<異議なし>

【委員】

18歳未満の方の13ページ問35について。将来希望する進路がいつの時点のことかわからない。仕事のことか生活のことかわかりにくい。

【会長】

一般的にはその時点での回答をするかと思うが、「あなたが今」という文言を入れるか。

【事務局】

事務局としては、18歳以降の話として聞きたい。選択肢の中にある「障がい児（者）」の「児」を消そうと思う。入所のニーズもあると思うので、その設問は置いておきたい。

【会長】

「18歳以降」というような文言を設問に入れた方が良い。

事業所アンケートについては何かご意見あるか。

【委員】

質問で強度行動障がいだけ4項目も入っているのが気になる。大きな問題とは思いますが、本人や家族の高齢化などもあるのに、と感じた。利用者の年齢区分や障がい種別も聞ければ良いのではないか。

【委員】

8ページ問7（2）人員・設備についての意味がよくわからない。

【事務局】

強度行動障がいに関しては、福祉計画の中でもニーズ把握をすることを成果目標に掲げているもの。人員・設備は事業所の従業員を指している。

【委員】

問6と被るのではないか。

【事務局】

確かに重複する部分があるので、回答側の負担を減らすためにも問7は割愛する。

次第3．第4期八尾市障がい者基本計画の令和6年度実績報告について

【委員】

道路のバリアフリーにとっても期待していた。何かで工事をする際は、原状復帰ではなくバリアフリーにすると前に聞いたことがあるように思うが、一向にバリアフリーが進まない。

【事務局】

バリアフリーについては福祉部局だけではなく、他部局も意識しているものではあるが、予算の関係等で難しい部分もあるかと思われる。こういったご意見があったことは共有していきたいと思う。